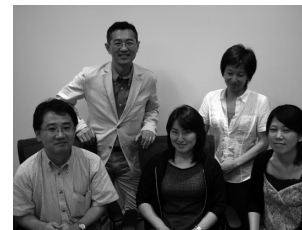


# ゲノム研究の未来は？ ～あなたならどう答えますか～

展示責任者 山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)



「ゲノム研究」というと、研究室で、何か(人間以外の)生き物や、そうじゃなければ目に見えない大きさの細胞を相手に、「実験」をしているというイメージがありませんか？

実は、それだけではないのです。「社会との接点」についての研究班では、現在の日本社会が、ゲノム研究や遺伝子について、どんなふう理解し、考えているかについての研究を行いました。そういった結果を、ゲノム研究の専門家が理解し、今後の研究やその他の取り組みに生かすことも大切だからです。

今回は、「ゲノム研究の未来」に関する調査を紹介します。国内在住の皆さん2000人以上に回答していただいた調査と研究者を対象とした調査をもとに、ゲノム研究に対する賛否や理解などを分析したものです。「ゲノム」という言葉を知らない人が多い一方で、ゲノム研究に期待を寄せる人が多いことがわかりました。

また、これらの解析に利用した統計手法をわかりやすく理解していただくために、簡単な質問に答えていただくだけで、あなたがゲノム研究に関してどのように考えているか予想するコーナーも用意して、楽しんでいただけるよう工夫しました。

あなたは、どの派？

ゲノム研究に対する意識の構造類型化(潜在クラス分析)

- Cluster 1: 積極推進派(関心が高く、推進にも賛成)
- Cluster 2: 消極推進派(関心は高くないが、推進には賛成)
- Cluster 3: わからん派:どの質問にも「どちらともいえない」
- Cluster 4: 関心慎重派:関心高いが、推進には態度保留
- Cluster 5: 無関心・冷淡派:関心が低く、推進にも冷淡

ゲノム基礎研究に対する態度に関する共分散構造解析

